



世代間のギャップ

「明けましておめでとう
ございます。今年もよろ
しくお願いします。」

先日タウン通信主催の
「老後スッキリセミナー」
で在宅医療についてお話
する機会を頂きました。



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばら
ホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

タウン通信の読者の方に
会え、大変感銘に終わり、
貴重な機会でした。
その際に佐藤愛予さん
の話題の著書『九十歳。何
がめでたい』を紹介いた
しました。これは患者さ
んに紹介された本で、診
療の度に「生きていたっ
て、何が楽しいのよ。歳だ
から」とお話しされてお
り、「先生、本を読んでみ
なさいよ。面白いわよと
言われて読んでみたもの
です。」
その中では、歳をとっ
て耳が聴こえなくなり、足腰
が弱くなり、自転車が
スツと近づいてくること
もわからない。ただ、上
手く説明できないエビ
ソードや、最近の情報収
集にスマートフォンが有
効であるけれども、ご年
配の人には何のことだが
よくわからないといった
本音など書かれていまし
た。
以前、スマートフォン
の遠隔操作で熱中症管理
ができるという話をこの
欄でも書きましたが、あ
る患者さんから「機械で
管理されることは嫌だ」
と言われ、私としても苦
笑いしたことがあります。
日頃の診療は医師と患
者という関係ではありま
すが、基本は人と人との
付き合いです。こつこつ
とシエネレーション
ギャップを理解しながら
皆に受け入れられる医療
を今年も提供したいと思
います。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
■定休日：土日(祝日は診療)
■訪問地域：西東京市、東久留米・
新座・練馬の一部
↑ 診療相談は
こちらから

まつばらホームクリニック 検索